

公立藤岡総合病院

地域医療連携だより

病院の理念
患者本位の医療

基本方針

- ・患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
- ・地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
- ・急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実に目指します。
- ・地域がん診療拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
- ・臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。

公立藤岡総合病院附属外来センター診療予定表 平成23年10月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
総合内科系 (新)新患 (再)再来 (循)循環器科 (呼)呼吸器 (血)血液 (腎)腎臓・リウマチ (糖)糖尿病 (神)神経内科 (甲)甲状腺 (消)消化器 (肝)肝臓 (煙)禁煙外来	午前	(新)河合	(新)神戸	(新)河合	(新)石埜	(新)河合
		(新)諏訪	(新)月田☆	(新)小林	(循)飯島	(再)壁谷
		(循)植田	(再)田原	(循)山岸☆	(循)植田	(再)入内島☆
		(呼)中川	(循)井上	(循)高松	(循)山岸☆	(再)竹内(季)
		(呼)神戸	(循)間淵	(血)斉藤	(循)須賀	(循)高松
		(血)外山	(呼)塚越	(腎)太田☆	(腎)河合	(循)山岸☆
		(糖)竹内(季)	(血)神保	(糖)加藤	(消)秋谷	(腎)塚田
	(神)柳澤	(糖)加藤	(神)柳澤		(糖)朱☆	
	午後	(再)壁谷	(再)河合	(再)柳澤	(再)壁谷	(再)飯島
		(再)竹内(季)	(再)飯島	(循)飯島	(血)神保	(循)間淵
		(循)須賀	(循)井上	(呼)中川	(血)石埜	(呼)塚越
		(呼)中川	(呼)塚越	(呼)須賀(達)	(血)田原	(血)外山
		(腎)太田☆	(糖)加藤	(煙)※塚越	(腎)河合(第1・3・5週)	(血)入内島☆
		(糖)加藤	(神)竹内(秀)	(腎)河合	(腎)月田☆	(腎)塚田
(消)秋谷		(甲)森村	(消)(肝)壁谷	(糖)加藤	(糖)加藤	
	(消)(肝)壁谷	緩和ケア【要予約】 15時～16時30分	(神)竹内(秀)	(糖)朱☆(第1・3・5週) (神)水野(第2・4週)		
心療内科	午前	五十嵐	高橋	五十嵐	亀山	五十嵐
	午後	五十嵐	高橋	五十嵐	亀山	五十嵐
小児科 (乳)乳児健診 (予)予防接種 (神)神経 (心)心臓 (内)内分泌	午前	川嶋	川嶋	小山☆	川嶋	川嶋
		中嶋	堀越		深澤	釜苧☆
	午後	10時～相馬		土屋☆	小坂橋☆	相馬
		(心)岡田(第2・4週)	川嶋	(内)小和瀬(第2・4週)	五十嵐	川嶋
外科 ()がん専門外来 (ス)ストーマ外来	午前	小林	谷	最上	設楽	原
	午後	矢島	石崎(第2要予約)	谷	安藤	森永
整形外科	午前	近藤	山口	近藤	近藤	山口
		久保井	勝見	越☆	越☆	久保井
	午後	小野	萩原	萩原	小野	萩原
		10時30分～装具外来	10時30分～装具外来	清水(リハビリ)	10時30分～装具外来	清水(リハビリ)
脳神経外科	午前	山口	非常勤	田村	黒崎☆	非常勤
	午後	嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡
皮膚科	午前	嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡
	午後	15時～群大	(手術)	(手術)	嶋岡	嶋岡
泌尿器科	午前	武井	岡本	曲	岡本	武井
	午後	北浦	北浦	北浦	北浦	北浦
産婦人科 (婦)婦人科 (産)産科	午前	(婦)吉田	(婦)延命☆	(婦)吉田	(婦)延命☆	(婦)佐藤
	午後	(産)延命☆	(産)吉田	(産)佐藤	(産)遠藤	(産)吉田
眼科	午前	石原	石原	石原		石原
	午後	[検査]	[検査]	[検査]		[検査]
耳鼻咽喉科	午前				※群大	
	午後	※15時～群大				
ペインクリニック	午前	日野/荒井			牛込	
	午後					
健診センター	午前	田村・山岸☆	田村・飯島	飯島	柳澤・壁谷	田村・飯島
	午後	飯島	河合	竹内(季)	竹内(季)	柳澤
内視鏡	午前	GIF 砂長☆	GIF 砂長☆	GIF 吉田	GIF 森永	GIF 橋爪
	午後	GIF 壁谷	GIF 壁谷	GIF 壁谷	GIF 砂長☆	GIF 矢島

診療時間：8時45分～17時00分 受付時間：午前の部 8時～11時 午後の部 13時～16時
※は完全予約制 ☆は女性医師 水曜午後の15時～16時半まで緩和外来(完全予約制)

年頭のご挨拶 「新年を迎えて」



病院長 鈴木 忠

新年明けましておめでとうございます。
甚大な被害をもたらした、いまなおその傷痕の癒えない東日本大震災と原発事故は、その広がりや時間的に際限のない大災害で、がれきと放射能汚染の中からの復興は途方もない時間を要することが想像されます。被災された方々が一日も早く平常な生活に戻れますことを祈念するとともに、今年が平穏な年となることを願っています。
今年診療報酬改定が4月に予定されています。昨年末の大臣折衝でマイナス改定は見送られましたが、社会保障・税一体改革案では団塊世代が高齢化のピークとなる2025年度に向けて描かれた医療・介護提供体制は増大するニーズに対して充実するどころか抑制・縮小しております。今後、現状の枠組みの延長上での医療提供体制の継続はますます困難となることが予想されます。当地域における医療の確保には、以前にも増して地域の医療資源の有効活用が望まれます。それには私たち医療機関は競争・競合ではなく、各々の特性を活かし役割分担し、真の機能分化と連携が必須です。
今年地域医療に関わる皆様方に病院の診療内容と実績をより多く発信し、皆様方との相互理解を深め、連携強化に努め、地域の事情にマッチした医療提供体制の構築に取り組みたいと思いますので、よろしくご指導ご協力をお願いいたします。

年頭のご挨拶

附属外来センター長 清水 透



新年明けましておめでとうございます。

新幹線と高速道路とが交錯するこの地に開設して早10年、外来センターの周りにも建物がちらほら出来てきました。とはいえず上毛三山をひかえ、あたりに広がる田園の風景は四季折々、姿をかえて廻っています。

それに対し医療の進歩は目を見張るものがあります。医療を取り巻く環境も驚くほどの変化を遂げており、医療に対する期待や要求もますます高まっています。健康増進への取り組みも盛んになっています。

外来センターでは患者本位の医療を常に心がけ、高度な医療の充実をめざし、これからも地域医療を担う皆様と共に、コミュニケーションを密にして、協力・連携して、住民の健やかな暮らしをサポートできるように努めていきます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

腎臓リウマチ内科の紹介

副院長兼臨床統括部長 塚田 義人



血液浄化室は、昭和62年に開設されました。この4半世紀の全国的な慢性腎不全患者さんの劇的な増加と軌を一にして、大きな発展を遂げて来ました。対象とする患者さんは、慢性腎炎から進展した腎不全だけでなく、生活習慣病の蔓延と高齢化社会を迎え、糖尿病や腎臓硬化症（高血圧や加齢による自然経過の要素の強い腎不全です）といった背景が目立っています。また合併症として、脳や心臓血管病変を既に有する方、透析を受けながら新たにガンを発症する方、整形外科的問題を抱える方など、単に血液透析だけでなく、同時に多くの病気を抱えながらの療養を余儀なくされる患者さんが多く、腎不全の治療はまさに全身性疾患の治療とも言えます。

当院は、急性期疾患・ガン診療拠点病院・地域支援病院等の役割を担う地域の中核病院ですが、血液透析や特殊血液浄化療法の領域においても例外ではありません。藤岡多野地区だけでなく、埼玉県北部までを含む広域医療圏での中核的施設としての役割を担っており、他診療科の協力を仰ぎながら、常時多くの患者さんを受入れています。

腎不全治療を巡る相談がありましたら、遠慮なく地域医療連携課にご相談下さい。また、透析治療を回避するためには、早期の段階で腎障害を発見し、適切な対処を講じることが最も大切です。尿所見異常やクレアチニンの有意な上昇がみられている患者さんがいましたら、外来センターの腎臓内科外来へのご紹介もよろしくお願ひ致します。



電子カルテシステムの稼働について

経営管理部 医事情報課GL
五十嵐 哲二



平成23年11月21日より、公立藤岡総合病院の入院患者を対象に電子カルテシステムを導入しました。電子カルテのメリットとして、

- ①リアルタイムで診療情報の共有が可能となる。
 - ②診療行為のデータベース化で過去の診療情報における早期検索が可能となる。
- が挙げられます。

また、退院後に附属外来センターで受診する際、システム端末で入院時の診療情報参照も可能となり、患者さんの入院情報を考慮した診療も行えます。

平成24年度の下期に外来部門の電子カルテ化を予定しています。外来から入院までの診療情報の一元管理が可能となり、より一層の診療効率が図れ、患者サービスが期待されます。

助産師外来を開設しました

附属外来センター 助産師師長 吉田 富子



平成23年11月から助産師外来を開設しました。

平成15年より退院後の母児に対して、助産師外来を電話相談という形で行っていましたが、一時休止していました。

今年には産婦人科病棟で堤式乳房管理の認定資格を受けた助産師が誕生し、入院中の乳房ケアはより充実し、母乳育児支援に貢献できると思います。さらに退院後の母乳ケアも産婦人科病棟と連携しながら助産師外来で行っていきます。

助産師外来と言ってもたくさんのバリエーションがあるため、群馬県内でも各施設によって様々な形で展開されています。乳房トラブルなどの対応や保健指導から始め、気軽に相談できる場所として活用していただけたらと思います。

今後は、地域の妊産婦のニーズを踏まえながら助産師のマンパワーを確保し、正常妊婦の健康診査や、出産後の育児支援へと広げられるよう取り組んでいきたいと考えております。

MRI装置についてお知らせ

診療技術部 放射線室長 田島 信夫



平成23年11月にMRI装置を更新致しました。メーカーはGEヘルスケア、磁場強度は1.5Tです。磁場強度は前の装置と変わりませんが、スキャンスピードが速くなっているので、患者さんの負担は軽減されております。また、新しいアプリケーションソフトが導入され検査の種類も増えております。例えば造影剤を使用せずに脳血流を検査することができます。

今回の更新を機にMRI検査の注意事項について、地域の先生方におかれましても、ご協力をお願い申し上げます。

次のような患者さんは、検査を受けられない事がありますので事前にチェックをお願いします。

- * 心臓ペースメーカーを身に付けている方
 - * 体内に脳動脈クリップや人工関節などの金属が埋め込まれている方
 - * 閉所恐怖症など狭い所が苦手な方
- また、撮影室に入るときには腕時計やヘアピン、アクセサリは外していただき、ポケットの中の鍵やカード類も出していただきます。刺青やアイシャドウ等の化粧品、カラーコンタクトレンズなども金属を含んでいるものがあるので、火傷の原因となり不可となります。
- 分からないことがございましたら、遠慮なく地域医療連携課あるいはMRI担当技師までお問い合わせください。

研修医症例発表会の感想

臨床研修医 藍原 和史



公立藤岡総合病院、研修医1年目の藍原です。日頃より大変お世話になっております。12月6日に外来センターにて研修医症例発表会が開催されました。医師会長の山崎先生をはじめ地元の先生方、ご出席いただきありがとうございました。

医師として歩みだしたばかりの私たちにとって、大勢の先輩方前で症例発表をすることは初めての経験であり、非常に緊張するものでした。私たち研修医は将来、学会等様々な場で症例発表を経験することになります。その第一歩として今回の症例発表会は非常に貴重な体験となりました。

